

# 早島町議会だより

平成27年12月1日

第50号

発行 早島町議会  
〒701-0303 岡山県窪郡早島町前湯 360-1  
TEL (086) 482-2608  
FAX (086) 482-4058  
編集 議会広報特別委員会



## CONTENTS

待機児童ゼロ! 保育園整備事業補助金	3P
生活費の支払いが収入の92.1% (決算審議)	4 ~ 5P
個人情報保護は大丈夫か (常任委員会)	6P
切実な要望、厳しい意見 (自治会訪問)	7 ~ 10P
土曜はやしま塾『大谷荘分校』開校	20P

園児元気に入場! (早島幼稚園運動会)

# 町長あいさつ

町長 中川 真寿男

私はこのたびの町長選挙により町民の皆様信任を得、今後4年間の早島町政を預かることになりました中川真寿男でございます。

町政の運営にあたりましては、町議会の皆様はもとより関係機関、関係団体、そして広く町民の皆様の御参加と御協力を賜り、互いに相携えて早島町をもっと前へ進めるために全力で取り組む所存でございますので、よろしくお願いたします。

私は、民主主義の原点に立ち、民意を政治の原点とし、声なき声に耳を研ぎ澄まし、真の弱者に手厚い政治、心のつながりを大切にする社会、そして、大きな可能性を秘めている早島の個性と魅力を伸ばし、物の豊かさ、心の豊かさを実現することによって、誰もが幸福を実感できる早島を創造する決意でございます。

子育てをしながら、働きやすい環境の支援体制を整えていきます。現在、待機児童が生じている現状を喫緊の課題と捉え、第一番にその解消に向け取り組みます。次に、幼稚園、保育園の保育料の段階的な無料化に向け検討いたします。学校教育においては、少人数学級での教育を実現し、きめ細かい指導による基礎学力の向上を図り、学力県内NO.1の早島に挑戦します。

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができる早島町を実現します。

早島町にも少子高齢化の傾向がみられ、高齢者の方が地域の中で社会的に孤立している状況が増えていきます。高齢者の方が住み慣れた地域で健康で心豊かに暮らせるよう、健康づくり運動や介護予防に取り組み、高齢者が交流できる「たまり場」を創設し、高齢者を一人ぼっちにさせないまちづくりに取り組みます。

地域の安全安心は、最重要課題であり、防災・防犯・交通安全対策を進め、安全な早島町を実現します。そのために、交通安全対策としては、幹線道路である(都)早島大砂線と(都)駅前バイパス線の整備を計画的にすすめて、そして、通学路を中心に防犯カメラを設置し犯罪抑止に取り組み、低地の浸水対策についても、雨水流し解析調査の結果を踏まえ、浸水軽減を図るための対策を検討いたします。

また、持続可能な地域の創造、魅力ある早島づくりに取り組みます。開発可能な土地を創出しながら若年層の呼び込みと企業進出を促進して、新たな自主財源と雇用を確保するなど戦略的なまちづくりを進めるため、都市計画マスタープランで本町の土地利用のあり方を検討いたします。一方で、限ら



れた財源を有効に活用するため、効果的な施策へ集中して投資するだけでなく、

施策の進捗を管理・評価し、行財政改革を行い無駄を削除し、持続可能なまちへと再構築していきます。

来年、早島町は町制施行120周年を迎えます。早急に町制施行120周年記念事業検討委員会を立ち上げ、この記念事業を町民の皆様への記憶に残る事業とし、早島の歴史や文化を次の世代に引き継ぎ、120年の節目の時を、町民の皆様とともに祝いたいと考えています。

私のまちづくりの目標として、安全、安心して暮らせ

豊かさが実感でき  
いつまでも住み続けたいまち  
早島の実現を目指してまいります。

大好きな早島の未来のために、私的な政治、町民のための政治に向かって、愚直にまい進する覚悟です。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

# 浅沼議員あいさつ

この度の町議会議員補欠選挙で、皆様の温かいご支援をいただき、議員としてお仕事を仰せつかることになりました浅沼一徳と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私は、まだまだ若輩者ではございますが、町民皆様の声を町政に届けるべく、勉強を怠らず、常に全力で取り組んでまいる所存でございます。

皆様のご要望に少しでも応えられますよう、日々努力してまいります。よろしくお願いたします。



# 待機児童ゼロ

## 保育園整備事業補助金として

# 1億2,150万円

### 早島幼稚園東分園を保育園に



9月定例議会は9月24日から10月2日までの会期で開かれ条例の制定、一部改正や補正予算など10議案は可決されました。

#### 議案審議の主なもの

◆専決処分の承認を求めることについて。平成27年度早島町一般会計補正予算(第3号)

法人町民税の確定申告において、予定納税額が確定申告額を上回り加納金が生じる法人が当初の見込みよりも増加し、還付を早急に行うための予算を計上する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がないことから専決処分を行った。

◆平成27年度早島町一般会計補正予算(第5号)

町は深刻な保育園の待機児童問題をうけ、来年度早急に、幼稚園東分園を保育園として開設することを発表。給食調理室等、保育園整備のために、次の予算を可決した。



安心して子育てができるまち『はやしま』

保育園整備事業補助金として、1億2150万4000円を歳入歳出予算の総額にそれぞれ追加し、歳入歳出予算の総額を52億8181万3000円とする。

◆早島町議会会議規則の一部を改正する規則について

議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出産の場合の欠席の届け出について、新たに規定するもの。

審議の結果、全会一致で承認された。

◆平成26年度決算について

平成26年度早島町一般会計歳入歳出決算は、決算特別委員会で慎重に審議され、原案通り可決した。(審議内容は決算特別委員会45頁参照)

#### 人事案件

##### 人権擁護委員

本町人権擁護委員田中良氏が平成27年12月31日をもって任期満了となるが、引き続き同氏を人権擁護委員として適任と認め推薦するものである。全会一致で承認された。

##### 固定資産評価審査委員

本町固定資産評価審査委員会委員金森憲一氏は、平成27年10月9日をもって任期満了となるが、固定資産評価委員会委員として適任と認め再選任するものである。全会一致で承認された。

# 平成26年度 決算審査

9月28日、9月30日平成26年度決算審査特別委員会が開かれ、全会計の決算を承認しました。  
 主な決算数値は広報はやしま11月号12ページをご参照ください。

## 経常収支比率の推移とその内訳

(単位：千円)

地方自治体の財政の弾力性を示す指標として利用される。計算式：経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額×100

	平成24年		平成25年		平成26年	
経常収支比率	94.50%		92.30%		92.10%	
経常的収入合計	3,093,406		3,067,351		3,093,504	
経常的支出合計	2,923,278		2,831,691		2,850,378	
(人件費)	774,017	25.0%	718,397	23.4%	748,307	24.2%
(扶助費)	219,842	7.1%	214,735	7.0%	253,818	8.2%
(公債費)	483,477	15.6%	475,689	15.5%	381,173	12.3%
(その他経費)	1,445,942	46.7%	1,422,870	46.4%	1,467,080	47.4%

## 基金残高の推移（一般会計）

(単位：千円)

	平成24年	平成25年	平成26年
財政町政基金	992,129	973,970	987,203
減債基金	300,938	301,038	304,155
特定目的基金	700,469	734,490	681,949
基金合計	1,993,536	2,009,498	1,973,307

## 地方債現債高の推移

(単位：千円)

	平成24年	平成25年	平成26年
一般会計	4,410,397	4,514,248	4,554,802
公共下水道特別会計	3,787,386	3,490,392	3,144,601

## 普通建設事業費の推移

(単位：千円)

	平成24年	平成25年	平成26年
普通建設事業費合計	660,798	743,533	569,845

### 主な質疑・答弁

#### 一般会計

**Q** 前年に比べ町税の不納欠損額が大幅に減少しているが、岡山県滞納整理機構へ依頼した件数は何件なのか。

**A** 全部で52件。

**Q** 前年に比べ固定資産税が増えているが、その主な要因は。

**A** 家屋に関する固定資産税が増えた。個人の新築で75件、企業新築が2件。

**Q** 超過勤務手当が前年倍増し、今年度さらに増えているがその要因と対策をどう考えているのか。

**A** 主に第4次総合計画策定のため、超過勤務が増えた。



遊具が撤去されたままの児童公園（すずめ池公園）

**Q** 自治会が管理している児童公園に遊具を設置する際、その費用の50%が地元負担となっている。また、遊具の管理責任も自治会に有るとしているがこれらのことをどう考えているのか。

**A** 総合計画の中でも身近な公園整備を目指している。自治会の費用の50%負担は重いし、管理責任を自治会にゆだねるのは荷が重いと考える。併せて見直しを検討していきたい。

**Q** 汐入公園の防球ネット工事を2回に分けてしているが、なぜ、一度にできないのか。

**A** 予算の都合で当初より2年計画とした。事前には説明させていたが。

**Q** 高額な業務用高速プリンタの導入目的は何か。

**A** 約450万円を投じたが、カラープリント・モノクロプリントとも大幅なコストダウンができた。導入後、既に約100万円の節減ができた。

**Q** 地域コミュニティ活動推進事業補助金および、ふるさと早島同窓会事業補助金の減額処理の理由は何か。

**A** 地域コミュニティ活動推進事業補助金は8自治会17件、ふる

さと早島同窓会事業補助金は12件の活用にとどまった。今後も施策の周知徹底に努める。

**Q** 防災士の資格取得補助は誰でも受けられるのか、町として今後、資格取得者をどう増やしていくのか。

**A** 防災士の資格取得補助金は、自主防災組織の推薦者に限る。また、防災士は女性を含めて、広く資格取得を進めていきたい。

**Q** 26年度一般会計決算が単年度赤字となる中での、国保会計への基準外繰出金3105万円を支出しているが、妥当な処置なのか。

**A** 国民健康保険税の急な値上げを回避するためには、念のためにも基金の積み増しをしておく必要があると判断した。

**Q** コミュニティバスの運航委託料が当初予算より約200万円増えているがその要因は何か。

**A** 当初予算より186万7000円増えているが主な要因は想定外の修繕費162万2000円によるもの。今後も車両の老朽化に伴い高額の修繕費支出の懸念もあり、車両管理、修理費の支出ルール等を検討していきたい。

**Q** 小児医療費の利用者数はどのくらいなのか。

**A** 人数は判らないが件数は平成25年が2021件26年が2042件。

**Q** ふれあい農園の施設管理費の縮減のための検討は進展しているのか。

**A** 1度、利用者による一斉清掃を実施してみたが、出席率も悪くそれ以降進展していない。引き続き検討していきたい。

**Q** 都市計画道路、早島大砂線の進捗状況はどうなっているのか。

**A** 県の報告によると、用地買収は50%以上の同意を得ている。完成の用途は平成30年度末としている。

### 特別会計

**Q** 国保の短期証・資格証の発行状況はどうなっているのか。

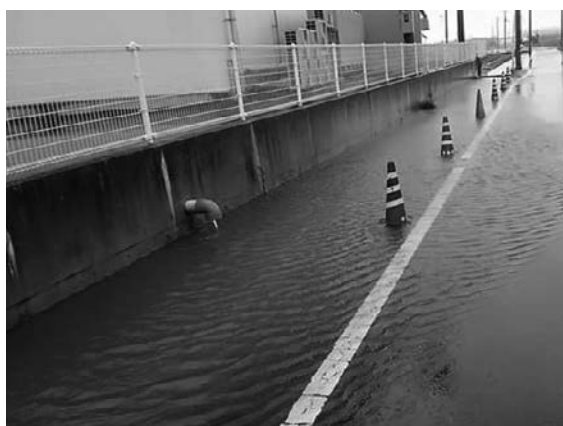
**A** 短期証は平成26年4月現在92件、27年4月現在85件、資格証は同じく5件、2件となっている。

**Q** 給付費削減の具体策は何か。

**A** データヘルス計画に基づき、特定健診受診勧奨および異常値の住民への診断勧奨を重点的に行う。

**Q** 公共下水道雨水対策調査事業及び全般的なゲリラ豪雨対策はどうなっているのか。

**A** 雨水対策調査は完了しており、27年度に対策シミュレーションをする。ゲリラ豪雨対策は何らかの貯水場所を作ることになると思うが、補助制度を含め多角的に検討し用途をつけていきたい。汐入川の改修は倉敷市と同一歩調ですすめる。



豪雨により冠水した道路（金田地内）

**Q** 水道料金の改定は必要なのか時期はいつなのか。

**A** 会計制度の変更に伴い、年末には改めて新しい収支計画を作り直す必要がある。これを審議にかけて、適正な料金を決めていきたい。

# マイナンバー制度に関する条例が賛成多数で通過!!

## 【総務厚生常任委員会】

### 議案審議の主なもの

◆早島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担額に関する条例の制定について

Q 当町の負担が増えるのか。また、この制度の中で自主財源の持ち出しはあるのか。

A 基本的な考えは従来と変わらない。

Q 今回幼児教育の無償化を公約にされているが、国の制度がない限り、今後やって行けばそれだけ自主財源を投入する必要があると思うが。

A そうだ。

Q 保育園の段階的な無料化の計画はどう考えているのか。

A 当面の課題として保育園の開設を解決した後に、次の段階で考えている。とりあえずは5歳児から始めたい。その辺の段階で示していく。

◆早島町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

Q 漏えいの心配はないか。

A 個人情報の条例はもともとあるもの。厳重にやっていると考えている。

Q 知られたくない人、世帯を離れている人への通知の対応は。

A 申請済みの人は、地方公共団体情報システム機構へ登録する。

Q 番号法のメリットは。

A 社会保障などで災害対策の分野における国民の利便性の向上と、行政運営効率化を図る仕組みである。

### 反対討論

●個人情報保護の観点から問題が多いので、容認できない。

### 賛成討論

●検討するところはあるが国全体が動いている。早島だけが反対していかげなものかと考える。

結果—賛成3 反対1 現案可決

◆一般会計補正予算（総務厚生常任委員会）について

Q 地域福祉センター運営委託料130万円はこの委託料か。

A 社会福祉協議会。

Q 地域福祉センターは町が所有する建物だ、ルールに基づいて出すものではないか。

A 昨年内規を定めた。130万円を超えるものは、町が直接支払い、それ以下のものについては、社協の内規に則って運用する。

## 子ども・子育て支援新制度で保・幼保育料を一本化。一部引下げに!!

### 【建設文教常任委員会】

◆早島町立幼稚園条例の一部を地改正する条例について

Q 保育園・幼稚園の保育料の規定を一本化するための条例改正とのことだが、月額5000円という幼稚園の保育料が高くなるのでは。

A 変わらない。また保育園の保育料については、一部引下げになる。

◆一般会計補正予算（建設文教委員会）について

Q 工事請負費の積算基準単価はどの程度増えたのか。

A 約13・51%の上昇。

◆平成27年度早島町公共下水道事業特別会計補正予算について

Q 公共下水道受益者負担金の

一括納入に対する報奨金は。

A 受益者負担1375万円に対し、報奨金301万円。約20%。

### 陳情・請願

#### 総務厚生常任委員会

安全保障関連法案の慎重な審議を求める国への意見書提出に関する陳情 【不採択】

#### 建設文教常任委員会

教員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるため2016年度政府予算に係る意見書採択の要請についての陳情 【採択】

# 議会主催 自治会訪問 (最終報告)

288人が参加

## 切実な要望、厳しい意見続々…

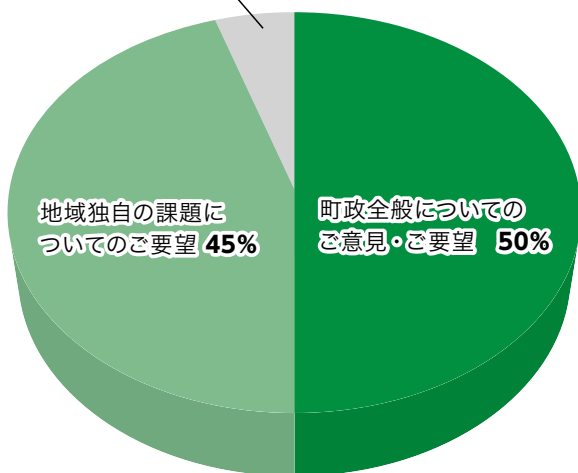


議会では、いただいたご意見・ご要望を「町政全般について」「地域独自の課題について」「議会に対するもの」に分け、一つひとつのご意見について、町役場執行部とも協議を重ねてまいりました。今議会だよりでは最終報告として、いただいたご意見の主なものと、その回答を掲載いたします。

町内全自治会を訪問する、「議員と語ろう会（以下語ろう会）」を5月からおよそ3ヶ月間にわたり、各自治会において、開催させていただきました。初めての試みにもかかわらず、自治会役員の方々が中心となって呼びかけをいただき、288人の方々が参加くださいました。「語ろう会」では町政への切実なご要望や、議会に対する厳しいご意見などを頂戴することができました。町民の皆様からいただいた声をしっかりと受け止め、今後の議会活動へ反映できるよう努めてまいります。ありがとうございました。

早島町議会議員一同

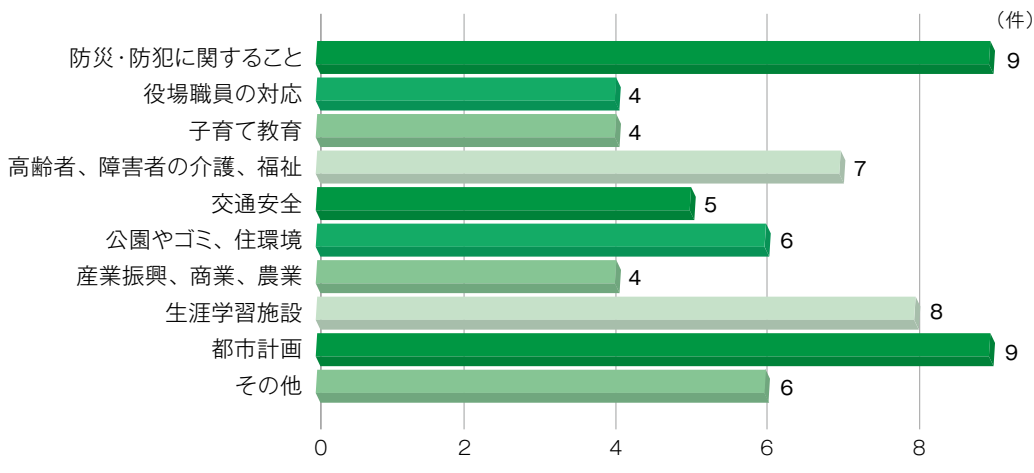
議会活動に対するご意見 5%



自治会訪問特集は4ページにわたって掲載しています。

町政全般に関するご意見・ご要望と回答

「JRのバリアフリー化一刻も早くしてほしい」「保育園の待機児童、どう解決するのか」



防災・防犯

Q 防犯灯のLED化推進を

A 新規及び故障等取り替えの場合、LEDの導入を行っている。

Q 防犯カメラを設置する意味はどこにあるのか。

A 犯罪抑止効果として、県の策定したガイドラインに基づき町内各所にカメラ設置を進めている。

Q 夜間バイクの騒音が激しい、取締りの強化を。

A 今年9月開催された交通安全協会早島支部の評議員会の場で倉敷警察署に要望した。

Q 防災無線は必要であるが、整備費用が高いのではないのか。

A 住民の生命財産を保障するためには、防災行政無線の整備は必要であると判断し、予算を審査し、議決した。

Q 消防団員の後継者対策。新入団員の確保が困難だ。

A 消防団と町がしっかりと協議をして、団員の確保に努めるよう求める。

子育て、教育

Q 保育園待機児童に今後どう対応するのか。たんば保育園への一般入所ができないか。

A 早島幼稚園東分園を今年度末で本園に統合し、来年度早急な新保育園の開園を目指している。たんば保育園は一般入所も可能。

事業所内保育や幼稚園の預かり保育も活用しながら、一刻も早い待機児解消に努める。

Q 中学生の自転車マナーの周知徹底を。

A 中学校では今春交通安全教室を開催し、自転車通学の生徒に対

してシミュレータを活用した仮想道路を走行する模擬体験を行っている。地域からも多くのご意見を頂いており、中学校に再度申し入れ、学校・家庭・地域と連携を図りながら交通安全活動に取り組んでいく。

Q 小学校の補助グラウンドの用途を明確にしてほしい。

A 学童保育の送迎車両の駐車場となっており、児童が授業等で活用するため、敷地の半分を駐車場として整備する。

高齢者・障がい者の介護・福祉

Q 国保、介護保険を使わない人への割り戻し制度や表彰ができないか。

A 表彰等を含め、行政とともに検討していく。

Q 福祉目的で町有車を使って、必要なときボランティアが運行することはできないか。

A 社協に福祉車両が1台新たに配置されたので、高齢者、障害者の足として活用できるよう検討している。



## 交通安全

- Q** 金田交差点の信号時間が短い。
- A** 国道2号線に進入する交差点の信号機の時間変更は国道事務所の管轄であり、要望として届けた。
- Q** マルナカ東交差点・大池駐車場南交差点に信号を設置できないか。

**A** 町内の交通事情を考えたらうえで総合的に検討をするよう町に要望した。

## 公園・ゴミ・住環境

- Q** 資源ごみでビンの分別徹底ができないか。
- A** 写真等による解りやすい分別の啓発の推進を要望した。
- Q** 資源ごみの盗難(新聞、アルミ缶)が多い。
- A** 夜間の盗難を防ぐため、原則としてゴミの朝出しを町はすすめている。
- Q** 早島公園の遊具、再設置ができないか。
- Q** 国鉾公園の整備、雑草、蚊の対策、公園内の段差と土砂流出対策を。

### 都市公園等の管理委託状況

(下記以外の公園は地域で管理している「児童公園」の扱いです)

公園名	担当課	25年度支払金	管理団体
ふれあいの森公園	建設農林	120万円 80万円	中山グリーンクラブ 矢尾やまびこ会
みはらしの丘	建設農林	29万7千円	矢尾やまびこ会
国鉾公園	建設農林	45万円	国鉾を美しくする会
早島公園	建設農林	140万円	市場地区城山を美しくする会
深砂公園 扇谷公園 野鳥の森公園	生涯学習	170万円	矢尾熊野会
山川池親水公園	建設農林	112万円	若宮みどりの会
矢尾グラウンドゴルフ場	生涯学習	195万円	矢尾老人会熊野会
宮山グラウンド	生涯学習	46万2千円	宮山公園管理クラブ
王山せせらぎ公園	企画	25万円	中山グリーンクラブ
汐入公園	企画	10万円	汐入住区グラウンド ゴルフクラブ
真磯台公園	企画	10万円	真磯台東公園清掃隊

**A** 町が管理する都市公園であり、利用者や管理している団体とも協議を行い、町全域の公園管理全般について、有効管理検討プロジェクトを新しく立ち上げ、その中で検討するよう要望していきたい。

**Q** 全町の公園管理の実態を教えてください。

## 産業振興(農業・商業)

- Q** 観光センターの活用方法を検討すべき。
- A** 駅前活性化と一体となつて、より活用されるよう議会として求めていく。
- Q** 農業委員会の機能が発揮できていない。委員会は必要なのか。

**A** 農業委員会法に基づき、農地の利用関係の調整、技術の改良・普及の指導等を行う行政機関であるとともに、町に対して農地利用について答申を行っている。

- Q** JR瀬戸大橋線南部の土地利用計画をどう考えているのか。農業振興指定地域の変更の可能性はあるのか。
- A** 当該地域の農地転用は原則として許可されません。当面、「まとまった農地」として保全していく方針だ。水路の改修計画は。

**A** 農用地区域の水路整備については、今後、多面的に検討していく。

## 生涯学習

- Q** ゆるびの舎のトレーニンクルームは町外者の利用料金を上げるべきではないか。(他の町の利用が目立つ)
- Q** グラウンドゴルフ場も町外利用者が多い、利用実態を調べ、料金体系を見直すべき。

**A** 町内公共施設の町外者の利用負担については、個々の施設の成り立ちの経緯などから、それぞれ違っているが、今一度精査、再検討を行政に要望していく。

- Q** 各種ボランティアの連絡会議が実現できていない。(旧ボランティアセンター) 総合的に調整する機能が必要。
- A** 町は、町民活動支援センターや社会福祉協議会と協議し、調整する場の設置を行う方針だ。

都市計画

**Q** 早鳥駅のバリアフリー化を一刻も早く。

**A** 国土交通省及びJR西日本(株)では基本的に(一日の)乗降客3000人以上の駅から順次改修工事を行うという方針だ。現在の早鳥駅の乗降客数は約2000人だ。即改修の対象ではないが、

引き続き町、議会共同しバリアフリー化促進に向けて関係機関に働きかける。

**Q** 人口減少社会が進む中で人口増の対策がとれるのか。

**A** 定住魅力都市の実現をめざし、諸施策を展開する。

**Q** 空き家の活用ができないか。

**A** 不動産会社と連携し、町内の空き家の積極的な活用を行う予定

だ。

**Q** 調整区域で開発が行われる場合は早めに教えてほしい。

**Q** 企業誘致の具体的な計画はあるのか。

**A** 誘致の具体的な計画はない。企業の進出希望は現在5社あるとの説明をうけている。各地域の地区計画の策定には地元住民の意見を反映するように定められている。

議会活動に関する「ご意見・ご要望」と回答

「議員定数と報酬は…」  
「もっと地域を見回ってほしい」



**Q** 議員が町内をよく見ていない。(地域に出てほしい)

**A** ご意見を真摯に受け止め、より一層取り組むことを確認した。

**Q** 議員報酬と政務調査費はどうなっているのか。

**A** 議員報酬は条例で定められ、HPから閲覧できる。政務活動費は早鳥町議会では導入していない。

**Q** 議会に関心を持ってもらう活動、仕組みづくりをするべき。

**A** 今年から議会報告会をはじめとして、青空議会、自治会訪問を開催し、身近に感じていただけるよう取り組んでいる。また小中学生の子供議会等を開催していきたくと考える。

**A** 議員の定数を減らすべき。議会では多様な住民意見を反

映させる場としての、議会の役割を重要視しており、議論形成のためにはある一定の数が必要であると考えている。

**Q** 一般質問の内容のレベルアップを。

**A** ご意見を真摯に受け止め、今後鋭意努力していく。引き続きご意見等をおよせいただきたい。

**Q** 工事完了後、現場確認をせよ。

**A** 予算審査特別委員会終了後に予定地調査を行っている。今後、ご意見を受け止め、より詳細な確認を行っていく。

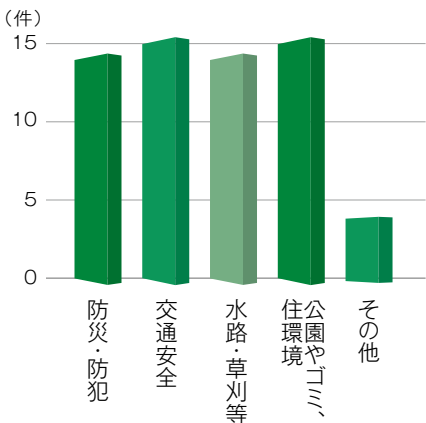
**A** 町政課題にに応じて連携する。

地域独自の課題についての「ご要望」と回答

地域独自のご要望やご意見等は各自議会、町内会の役員の方を通じて、直接回答させていただきま

す。

なお、地域の道路、側溝等の修繕や交通安全施設等の設置に関するご要望は、地域の行政委員さんが取りまとめ、町へ要望いただく手順となっております。改めて「行政委員さんを通じてご要望いただきたい」との回答をさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。



各自議会から出された主な課題



真鍋 和 崇 議員

**町長の政治姿勢について**

**① 町長の政治信念について**  
 問 早島をどんな街にしたいのか。

**答 町長** 誰もが等しく医療や福祉を受けられるように、社会的弱者に温かい町政を行う。町民の声を施策の根本に据える。

**② 4次総合計画・学校教育ビジョンについて**

**問** 町政の基本方針として、多くの人によって練り上げられた計画を継続し、推進することを求める。

**答 町長** 今後も継続し、推進す



「第4次総合計画」と「学校教育ビジョン」継続した運用が求められる。

**待機児童解消と「育休退園」の見直しを一刻も早く**

**答** 次年度内には新保育園の開園を急ぎ、その後「育休退園」を見直す。

**③ 安保健制に反対を**

**問** 国民の声を無視した「安保健制」に住民の生命とくらしを守る観点から「反対」の表明を。

**答 町長** 世論調査でも「審議が尽くされていない」「十分に説明しているとは思わない」が80%を超え、説明責任が果たされたとは言えない。

**問** 国民的理解が得られるように慎重に議論を続けていただきたい。

**保育園の待機児童解消の目的を明らかにせよ**

**問** 待機児童解消について、町民からは切実な声が寄せられている。保育園新設までの目的、定員、規模等を示せ。

**答 町長** 来年度幼稚園東分園を本園に統合し、保育園の開設を急ぐ。受け入れ可能人数を100人を目途に調整する。

**問** 待機児童数は41名。既存2保育園の余裕確保や町内の新たな



「待ったなしの課題」待機児童解消 (広報はやしま 10月号表紙)

住宅地開発等を踏まえると、100人規模の想定では充足しているとは言えない。

**答 町長** 新たな要望には応えない。指標としての100人だが、キャパシティはまだあると考える。

**問** 来年度の開園までの園児の受け入れはどうするのか。

**答 町長** 2保育園の最大限の受け入れと幼稚園の預かり保育の活用、一時保育の利用日数の拡大を行う。

**在園児の継続入園について**

**問** 6月議会で、在園児の優先した継続入園が行われるよう「制度改正を行う」との答弁があった。

**答 町長** 配慮すべきことだと思いい、継続保育できるようにしたい。

**問** 岡山市が来年度からの「育休退園」の見直しを明言した。町長の公約の一環としてぜひ実現を。

**答 町長** 新保育園開設の後、「育休退園」の見直しを検討する。

**小学校小運動場の整備を求める**

**問** 雨天は地面がぬかるみ不便を抱える。整備を求める。

**答 教育長** 半分は駐車場として整備し、運動場の機能も残し整備する。

**企業立地の推進と住環境保全について**

**問** 6月議会で第二流通南部の緑地帯を保全し、希少動植物の文化財指定を行うとの答弁があった。売却しない方針変わりはあるか。

**答 町長** 変わりはない。都市計画緑地として県に指定を要望する。

**問** 当該地域において地域住民の声を聞き計画的な町づくりを。

**答 町長** どのような開発行為が行われるかは聞いていない。地域住民の声を聞いた開発を行う。

**問** 金田・下野地区の新産業拠点の整備によって水田の貯水機能が失われる懸念が寄せられている。企業立地の際に基準より大きな調整池を設けること等を条件に、優遇措置を講じてはどうか。

**答 町長** これから検討する。



佐藤 眞治 議員

**問** 首長の引き継ぎは、完全なもの  
ができてきているのか

**答** 事務引き継ぎの状況は各課長よ  
りヒアリングを今受けている

**問** コミュニティバスの問題で  
久々原地区の自治会長と町長室を  
訪ね、自治会の方々の悲痛な声を  
訴えた。

同席は建設農林課長・町づくり  
企画課長心得・健康福祉課長の3  
人がおられた。前町長は「この問  
題は難しいことではあるがやりま  
す」といわれた。

私が企画課長心得に「今年中に  
は案ができるのでは」と言ったと  
ころ、はつきりではなかったが  
「まあそれくらいには」という言  
葉をいわれた。町長はそういう状  
況にまでなっていることを、聞い  
ているか。

**答 町長** バスの件は関係課長か  
ら報告を受けている。運行してい  
ない地域があること、ルートやバ  
スの台数、町外への運行、受益者  
負担の問題いろんな課題がある。

地域公共交通会議を町の方で  
行っており、学識経験者の意見を  
いただきながら検討していく。

**答 町づくり企画課長** 案につい

ては27年度中の時間をいただきた  
いと回答している。自治会長にも  
会議の構成員になっていただいで  
おり議論していきたい。



左折が望まれるコミュニティバス  
(舟本交差点)

**問** 久々原駅のトイレの設置の問  
題だが、知らない人が近隣の家に  
トイレを借りにくるようだ。入れ  
ないと何をされるかわからないの  
で怖いとのこと。

また久々原公民館の周りに放便  
をされて非常に困っている。

前町長は、町長室で建設農林課  
長に「予算を取ってなんとかする  
ように」といわれた。

**答 町長** トイレがないことで集

会所や周辺の居住者に問題が生じ  
ているのは聞いている。都市計画  
法の関係でトイレのみを設置する  
ことは困難。

駅周辺の環境問題等の解決に向  
け自治会と協議を行っていきたく  
い。

**答 建設農林課長** 近隣の住民の  
方への迷惑行為、公民館付近への  
迷惑行為など、最近の状況等もお  
聞きし自治会の方と今後早急に協  
議したい。

**町民総合会館『ゆるびの舎』の  
休館日について**

**問** 現在の休館日は毎週月曜日と  
なっている。これは町民のみなさ  
んの少しでも多くの方々に、施設  
を利用していただきたいとの考え  
で日曜日を閉館日とされている。

月曜日は休館日ではあるが、祝  
日の場合は閉館すべきではないか  
と考える。閉館して町民の方々に  
利用していただければ、町民への  
サービスの向上に少しでもつなが  
ると思うが、教育長の考えは、

**答 教育長** ゆるびの舎には、ゆ  
るびの舎、図書館、健康づくりセ  
ンター、生涯学習課と4つの業務  
を行う複合施設になっている。

特に複合施設では一律という

ころが多いかと思う。生涯施設や  
中央公民館、コミュニティセン  
ターなど社会教育施設なども合わ  
せていくことになり職員も現在の  
配置数では非常に困難である。

**問** ゆるびの舎には町民が利用で  
きるいろんな施設（図書館・ト  
レーニングルーム・風呂）がある  
からこそ、町民の要望も多くある  
し事務的なことは休んで、町民の  
利用施設のみを利用可能とするこ  
ともできるのではと思うがいかが  
か。

**答 町民総合会館町心得** 図書  
館の方で生涯学習課の所管にな  
り、図書館協議会というものが県  
全体にあり県下は大体月曜日は休  
みとなっており、連携がとれない  
ということでは休みとしている。  
図書館の方がクリアできるように  
なってくれば、考えるべきかな  
と思う。



祝日の月曜日の開館が望まれる  
“ゆるびの舎”



浅沼一徳 議員

**問** 本町の教育について決意を問う

**答** 指す 大人も子供も学べる町づくりを目指す

**問** 本町の教育は「確かな学力、豊かな心」の育成に向けて幼少中の一貫教育を進めてきた。そして、今までの取り組みの成果と課題を基に、5年先、10年先を見据えて、素晴らしい早島町学校教育ビジョンが冊子にまとめられた。ビジョンの示す子供像は、地域とつながり未来を拓くはやしまっ子の育成を目指しており、この取り組みは、町民はもとより県内外からも注目されている。ひきつづき教育ビジョンの推進を求める。

**答 町長** 学校教育ビジョンにつきましては、尊重して引き続き推進していきたいと考えている。



保護者の声を聞いた時間設定が求められる学童保育

実現に向け、町費負担職員をはじめ、教室の増築などの問題があるが、色々考慮し実現していく。

**問** 保育料無料化に向けての意図、そしてプランについて問う。

**答 町長** 早島子ども・子育て応援プランの策定に当たり、保護者の方全員にアンケート調査を実施、家庭の経済的な問題が多く指摘され、約40%の方がおられた。子育て世代の方々の子育てしやすくなりやすさが実感できる町になることは、若者の定住促進にもつながることになり、早島町を活性化していく上での重要なことだと考えている。財政状況を見ながら、まず5歳児から段階的に取り組んでいきたいと考えている。

**30人学級に向けての方策は**

**問** 本町では「教育の町はやしま」の宣言がなされ、町をあげて教育の町を目指していくことになった。具体的どのような取り組みをするのか。

**答 町長** 第4次総合計画の基本目標の一つである「地域と共に学び、育む次代を担う人づくり」の町がより、町民に浸透するように策定されている。町民への周知を図り、学校教育課、生涯学習課も含め、町民みんなが、学べる町づくりを目指したい。

**問** 本町民や、保護者は、とても感心を持っておられるとともに、実現可能なか不安視の声もでてくる。

**答 町長** 今後一層の学力向上やいじめ、不登校防止を目指すために子供一人ひとりの学力や心の状態をしっかりと把握し、きめ細やかな指導を行うことが求められる。

**学童保育の実施について**

**問** 本町の学童保育では、土曜日保育がないため保護者から「非常に困っている」との相談が寄せられている。土曜保育の実施また、長期休み期間中の開園開始時間の延長利用を求める。

**答 町長** 土曜の学童保育が必要な方々には、児童館・ファミリーサポートセンター等の利用を進めてまいりたいと考えているが、今後土曜日の利用については、保護

者のニーズについて把握し検討したい。

長期休暇中の保育開園時間延長に対しまして要望、ご意見をいただいている。他市町村の状況や皆様方の現状も踏まえながら検討してまいりたい。

**転入者に対する対応について**

**問** 本町に転入する人が増えてきておられる中、届けを出しに來られた新しい住民に対し、あたたかい対応が求められる。情報提供を行ってはどうか。

**答 町長** 初めて早島町に転入される方には自分が属する自治会がどこなのか把握しきれてない方もおられると思う。自分の属する自治会に限らず、町内全体を知ってもらうためにも自治会区割り表、町内マップを転入者に対してお渡しできるようにしたいと思っております。10月1日から出させていただいている。



転入者に新たに配付される資料



佐藤 政文 議員

**問** 観光センターを活用しての文化、芸術振興について

**答** 利用可能になれば年度内には実施したい

**問** 文化・芸術振興策について町長に質問、及びご検討をお願いしたい。

第4次総合計画の中にもありますが、「町内で活動する多くの文化・芸術グループには、活動の場や発表の場を提供するなど支援を行います」と明記されている。

そこで、新町長は早島駅前の一等地にある、早島町観光センターのさらなる活用について、どのようにお考えか。

隣の倉敷は風情のある景観を保っていますが、私は、「早島も倉敷に負けない風情ある景観を保っている」と思っている。

早島には、観光の目玉がないとよく言われる。

そこで、早島駅前の一等地にある、早島町観光センターに、町内外の芸術作品の展示をすべきだと思います。

早島に行けば、駅前の一等地で優秀な芸術作品が、無料で年間を通してみることが出来る、となれば賑わいの一助になると考える。賑わいのまちを取り戻す格好の材料となることだろう。その上、アートは年間を通じて早島をPRできる格好の材料だ。



観光センター

**答 町長** 飲食休憩コーナーの壁面が利用できると思う。規則、条例変更で利用可能となれば、年度内に実施したい。まずは、町内で活動する文化・芸術グループの発表の場になりたい。

**30人学級について**

**問** 30人クラスの実現を公約されている。そして、学力県内NO1に挑戦するとしている。

確かに少人数になれば、先生の指導もよく目が行き届くことだろうが、学力向上にはやはり優秀な先生が必要ではないか。

学校教育課長を長く経験してきた新町長はご存じのことだが、現在優秀な小学生は隣の、小・中一貫校に行く。

今現在、早島中学校の先生方も十分頑張っていると思うが、さらなる学力向上には、諸先生方に頑張ってもらいたい。

ただ、頑張れ頑張れでは、話にならない。それなりの手当をして、現場の人が、頑張れるようにする体制が必要ではないか。優秀な学校のある所には、いい家庭の子供たちが集まるといのが私の持論だ。

**答 教育長** 現場がやる気を出すということ、学力向上につながる。ハード面において教職員を支援することは非常に重要である。

**保育料の無料化について**

**問** 幼稚園、保育園の保育料の段階的な無料化については、いい施策とは思わない。

町財政に余裕があれば、もちろん子育て支援として、できるだけ補助は必要な施策であるとは思っている。早島は交通の便もよく、環境の良い町です。他市町村に住んでいる人の中にも、将来住んでみたいと考えている方も多くいることは事実だ。

子供を安心してあずかってもらえる施設の充実は何より大切なことだ。

財政的な余裕を作るための施策があれば示されたい。

**答 町長** 幼稚園と保育園では保育内容が大きく異なっている。

この度の無料化は、子育て支援の一環として行う施策だ。

最優先は、待機児童解消のために、新しい保育園を開設することだ。行財政改革をして、重なっている事業やもう済んだものの、所期の目的を達成したもののなどの評価を行って無駄の排除を行う。

新しい企業に来ていただき、雇用の確保と自主財源の確保をする。この2点を実行する。



平岡 守 議員

**問** 早島駅前土地利用について

**答** 町の顔とつて整備について

駅から街を見てどう感じているのか

**問** 駅から見る街並みは殺風景である。観光センターは北入口のため、人の動きがわからない。コンビニ、飲食店、商店もない。静かな活気のない町と感じられるが町長はどう感じているか

**答 町長** 数十年前と特に変わっていない。変わった所は駅前広場と4車線になった県道早島停車場線、観光センター、マンション、そして店舗が閉店し、食堂がなくなっている。また、イ製品業者の倉庫もひっそりとしている。活気がなくなっていると思う。

駅周辺の活性化、環境整備はどうするのか

**問** 土地利用の計画的推進と住宅地の造成による均衡ある発展や、駅周辺の「活性化と環境整備」を進めると選挙公約にあるが、早島町の玄関、駅前を「賑わいのある

町」と感じる開発、住空間の整備、宅地化についてどのように進めるのか。

**答 町長** 現在の活動にふさわしい新たな都市の形成を考えて、駅周辺を「町の顔」として整備し、通勤通学の利便性や行政機能の集積を生かして重点的に定住の促進を図り、地区としてコンパクトで暮らしやすい住空間を形成したい。そして駅周辺だけでなく、役場周辺も加え、骨格となる都市計画道路・駅前バイパス線の計画的な整備により様々な生活機能を誘導し子育て世代・高齢者が歩いて暮らせる魅力ある環境整備に取り組み、都市計画制度を活用し実現していく。

**問** 駅前バイパス線が整備されると駅前開発は進めやすいが、現段階では10年以上先。また国道2号線を年間4000万台の車が通行している。その車両台数、利便性を活かし、道の駅等を設置し早島駅と2号線を一体化した活性化策

はどうか。

**答 町長** 駅前バイパス線の現在計画は全くないが、関係機関に力強く訴え、必ず作っていきたい、道の駅は活気ある町づくり政策の一つとして提案している。実現可能か今後検討していく。

**町制120周年事業について**

**問** 早島町は幾多の合併問題が起る中、常に自主自立の道を選択している意味は非常に大きく、価値があると感じている。この歴史ある早島町を県内外、全国的に発信していく事業計画を進めてはどうか。

過去の歴史「イ草の町早島」は必要不可欠と思うが未来を創造した新しい町づくり・発想も必要。町民、行政共に、力を結集し早急に実行委員会を立ち上げ実現に向けて進めてはどうか。

**答 町長** 本年度中に町民による実行委員会を立ち上げ、先人たちが作り上げた文化を次の世代に引き継ぎ、これからの新しい町づくりのきっかけになるよう町民皆様の記憶に残る記念事業とし28年度1年間をかけて実施して行きたい。

**高齢者等乗り合いタクシー事業について**

**問** この運行事業の実施主体は自治会であるが、現在28自治会の中1自治会しか実施されていない。現実問題、住民が少なく、十数件しかない自治会もある事から、運用、利用することは不可能と考える。

町の定める高齢者や障害者の外出や移動を支援し、日常生活の利便性の確保や社会参加などを促進する事業ならば、それらに該当する町民が利用できる施策が必要。また現実起こっている買い物難民等にも対応するためにも公正、平等に、必要な方への乗り合いタクシー事業を見直してはと思う。臨時職を配置、自治会の集約、またタクシー会社と協議しシステムを構築する事も考えられる。幸いにも早島町にはタクシー事業所が2社ある、これらの業者にもメリツトが発生し経済効果も出るのではないかと考えるがどうか。

**答 町長** 現行の高齢者等乗り合いタクシーの利用しやすいシステム作りを含め公共交通体系のあり方について検討していく。



古田 敬司 議員

**問**

就園補助金制度の周知をどのようにしているのか

**答**

今後、ホームページに掲載することも近隣の私立幼稚園に直接通知する

**問** 平成13年4月1日施行された「要綱第一号、幼稚園就園補助金交付要綱、第一号で早島町立幼稚園以外の幼稚園に在籍する園児の保護者に対し、保育料等の助成をする場合に、その予算の範囲において就園補助を交付する」第2条では、「補助対象に該当する世帯の保護者の申請に基づき補助金を交付する」とうたわれているが、該当する保護者に対してこの補助金交付要綱をどのように周知されているのか。また該当者はどのくらいいるのか。

**答 教育長** 私立幼稚園に通う園児を対象にした補助金制度ですが、町内に私立幼稚園がなく、町の幼稚園に通う園児の人数を把握できていなかった。

今年度該当園児の保護者からの申し出により、近隣幼稚園に通う園児数を確認した。今後、本町のホームページに掲載するとともに近接の私立幼稚園に直接通知し、周知を図っていく。

また現在の該当者は6名と把握している。今回のことを受けて、町民課、健康福祉課とも連携を取りながら、把握していく。

**問** 補助金の交付額は同一世帯から2人以上就園している場合の第2子に対して年額4万円を限度に支給されることになっているが、隣接する倉敷・岡山市の支給条件、支給額を精査し検討していたかどうかを要望する。

**答 教育長** 子ども・子育て支援法が施行され補助金の見直しを行う必要がある、近隣市町村と比較しながら交付額、交付対象世帯について早急に検討していく。



早島幼稚園

**公園・トイレの維持管理について**

**問** 早島町には、都市公園と呼ばれる公園がいくつかある。この公園の維持管理は任意団体に委託され契約に基づき一年間の請負委託料が支払われている。一方、自治会が管理する児童公園または子ども広場の管理交付金は一切なく自治会任せになっている。

そこで、自治会が管理する公園の草刈、トイレ清掃に係る負荷を公園面積、人口割で算出するなど検討し、自治会等活動推進交付金の中に盛り込み、公平感ある施策を行う必要がある。

また、町内の公園はその成り立ちで管理する課が異なり、一元化を要望する声も上がっている。一元化により経費の削減、ひいては行財政改革の一助になるのではないか。

**答 町長** 自治会への交付金の交付は自治会町内会活動推進交付金交付要綱に基づき、人口割、世帯割、防犯灯割、均等割りである。年自治会町内会ごとに交付しており、自治会の活動を支援している。そしてこれ以外に地域コミュニティ活動推進事業補助金交付要



塩津龍神社子供広場

綱及び地域集会所設置費補助金交付要綱により交付金を交付し、自治会活動をあと押ししている。

以上のことから議員提案の自治会町内会活動推進交付金交付要綱での対応はなじまないと判断し、交付金の構成を見直すということは今のところ考えていない。しかし公園管理全般について町内にある公園を整理整頓し、それぞれの公園に求められる目的、機能、役割を明確にして、そしてその目的の特化や機能の付加など既存ストックの活用を重視した検討が必要であると考えている。

さらに公園管理については課題があり、問題もあると思っっている。公園利用者の目線に立ち私が中心となって公園の既存ストック有効活用プロジェクトチームを立ち上げ、慎重に検討していく。





松森京子議員

**問** 健康増進について、受動喫煙による健康被害が問題になっているが対策は

**答** 周囲の人にも健康被害を及ぼすと認識している。積極的にPRに努め、庁舎入口の喫煙場所は撤去する

**問** 健康増進について、死因の1位は肺がんであり、原因は1位に喫煙が上げられている。喫煙しない人に比べ肺がんになるリスクが4倍から5倍、1日に20本以上吸う人は10倍にも上がる。受動喫煙による健康被害も深刻な問題であり、肺がんや心筋梗塞で死亡する人が、年間約6800人と言うデータも出ている。

**答** 喫煙はさまざまながんの原因の中で、予防可能な最大の原因と言われている。本町での肺がんの対策、喫煙対策をどのように考えているのか。

**答** 町長 喫煙はがん、循環器呼吸器疾患、糖尿病、さらに妊婦に関連した低出生体重児等の原因になっている。受動喫煙も本人のみならず周囲の人にも健康被害を及ぼすと認識している。  
ポスターの掲示、愛育委員により早島駅、早島中学校でのパンフレットの配布やイベントを通じて普及啓発に努めている。

今年度から、岡山県で40歳未満の禁煙治療費が保険適用にならない方の助成も始まった。積極的にPRに努め、庁舎の出入口喫煙場所は撤去する。



撤去された喫煙場所

**問** 胃がんになった日本人の多くからピロリ菌が発見された。我が国では、平成23年政府が胃がんとピロリ菌の関係を確認した。ぜひ胃がん防止のため、負担の少ないピロリ菌検査費用の補助を行い、検診受診率を高め早期発見で胃がんを防止すべきではないか。また各自治会等で行われる健康体操や、イベント行事などに参加され

た人にはポイント制度を導入してはどうか。

**答** 町長 ピロリ菌検査の導入は国の動向を見ながら検討する。

本町ではH26年度から健康チャレンジ大作戦として、継続的に健康づくりができるよう支援している。今後は、自治会などの健康づくりへの取り組みに対しても、今の健康づくりの実践メニューに加え、引き続き参加しやすい体制にする。

**安心して利用できる公共施設を**

**問** 高齢者の方や障害を持った方が安心して利用できるように、公共施設の洋式トイレの拡大、施設の出入口の段差の解消、施設内の



出来るところから改善したい

階段をスロープにするなどの計画はないか。

**答** 町長 昭和50年代から平成の初めにかけて整備した施設は、高齢者や障害を持った方への配慮を欠いたものになっている。

早急に各施設の担当課で施設の点検を行い、できるところからこの部分については改善したい。

**空き家の活用は**

**問** 空き家の活用について、町長は高齢者の方に孤独感を味わせたくないとの思いで、「各地域にたまり場を作りたい」と言われた。行政として何らかの有効な利活用を講ずべきと思うが。

**答** 空き家の利用について、管理はされてきれいだいが、人が住んでいない空き家の有効利用と、危険な空き家、の2つの面でこれから考えていく。

防犯上非常に危ないところは、空き家対策に関する特別措置法に基づいて対応していく。その一方で使っていない空き家を地域のたまり場としてでも活用できればと考えているが、ある程度の組織や規律づくりをして、各地区に投げかけて実現を図っていききたい。



福田 健 議員

行財政改革について

**問** 地方自治体の財政運営において行財政改革は永遠のテーマであり終点のない行政課題と考える。

新町長をお迎えし、町長は町の財政状況をどう捉えているのか、今後どのように行財政改革を進めようとしているのかを説明いただきたい。その前にまず、早島町の自主財源（留保財源）について確認しておきたい。私がここでいう自主財源とは町税の25%相当額のことであり、平成26年度の決算値では18億2600万円の25%で4億5700万となる。

総務省は各自治体間の財政の不均衡を調整して、全ての自治体が一定水準の行政サービスを維持できるよう、その財源を保障する見地から、国税として徴収した税金の一部を一定の合理的な基準によって再配分している。それが地方交付税である。地方交付税額は、基本的に各自治体が、一定水

留保財源は何に使われているのか

**問** 町が独自に行う住民サービスに使われている

準の行政サービスを維持するに必要な経費と税収との差額、すなわち、基準財政需要額と基準財政収入額との差額を基準に算定され交付されている。その基準財政需要額を算定する際、町税の25%が除外される。これが一般的にいわれている自主財源（留保財源）である。

平成26年度決算値では自主財源がどのように使用されたのか、町長の認識を尋ねる。

**答 町長** 留保財源は自治体が独自に行うサービスすなわち、標準的サービスを上回るサービスの財源に使われることになる。

当町では、中学3年までの医療費の助成・町民会館運営費・図書館費・コミュニティバスの運行費。観光センター運営経費等々に使われている。

今後は、保育料の段階的無料化や少人数学級の実現を公約として掲げており、限りある財源の使途を慎重に検討していく。

**問** 留保財源は公債費に約1億9千万円、下水道会計の基準外繰出金約1億円にも使われている。

当たり前となっている町独自の住民サービスが、この大切な留保財源で賄われていることを住民の皆様が徹底的にPRし、理解を深めていただきたい。

**答 町長** 留保財源の使途やその目的を住民の皆様にはわかり易く噛み砕いて説明することはなかなか難しいことだが、もっともって説明していきたい。

**問** 今後自主財源を増やすため何に取り組んでいくのか。

**答 町長** 第4次総合計画に示されている定住促進策や企業誘致のための諸施策に取り組む、企業関連では現時点でおおむね概算で2億円程度の増収を見込んでいく。



起債償還も完了した「ゆるびの舎」

高齢者等が集うたまり場について

**問** 町長は高齢者が気楽に集うことのできる「たまり場」を各地域

に開設していくと表明されているが、基本的な考え方を示されたい。

**答 町長** 高齢になっても元気で生きがいを持ち、住み慣れた地域で暮らしていくためには、人々の交流が大切。また、高齢者が主体的に参加運営できることはお年寄りの生きがいづくりにもつながる。そして世代間を超えた交流の場とすることが子育てにも通じる、このようなことから、高齢者の「たまり場」については、高齢者が孤立することのないよういつでも立ち寄れて誰もが利用できるような場所を、身近な公民館や空き家を使用し開設していきたい。

福祉ボランティアの育成について

**問** 地域包括ケアシステムの確立が急がれる中、福祉ボランティアの育成は急務である。ボランティア活動のポイント制や表彰制度を取り入れてはどうか。

**答 町長** ボランティア体制の整備についてはまだ検討中の段階。ポイント制でなく困ったときお互いに支えあえる体制づくりを考えたい。表彰制度は検討する。



佐藤 智広 議員

総合戦略は質で勝てる目標を!

問 早鳥町の地方版総合戦略は

答 将来も人口増の望める魅力あるまちを見据えた総合戦略を

問 国のすすめる地方版人口ビジョンと総合戦略。まず人口ビジョンについてだが、既に業者に外注し、そのデータが示され、これよりその肉付け作業。いわゆる『ストーリーをつくる段階』であると思うが、国の示す2060年ではどの程度の人口を目標としているのか。

答 町長 1万3500人。近隣にはない人口増の地方人口ビジョンを持っている。

問 総合戦略は第4次総合計画をベースに目標設定と具体的施策の選定をされるようだが、どのような形態で進めて行くのか。有識者会議(産官学金労)を持つのか、あるいは住民参加の会議(いわゆるまちづくり委員会)にするのか。

答 町長 有識者による総合戦略会議を11月には立上げ、第4次早鳥町総合計画を基本とし3月までに策定する。



住みたい・住んでよかった・住み続けたまち早鳥

問 今回の総合戦略は、国が人口減に歯止めをかけようとする市町村の人口争奪合戦を助長しているようにもとれる。市町村同士のサービス合戦による疲弊があつてはならない。近隣市町村との連携や調整をどのように考えているのか。

答 町長 総合戦略の中ではまちづくり。近隣との連携や調整はそれとは別に考えている。基本的に魅力あるまちをつくれればそれに応じて人が集まってくると思う。

問 捉え方の違いがあるようだが、総合戦略は、ある意味、市町村による人の取り合いだと思う。

だからこそ総合戦略は質で勝てる目標を立て、地域が持つ個性そしてその可能性を追求していただきたい

倉敷・早鳥間のバスの実現を

問 高梁川流域連携中枢都市圏をはじめ連携中枢都市圏の町としての取り組みについて問う。とりわけ早鳥・倉敷、早鳥・中庄という公共交通網の構築に向けた取り組みだ。

議会としても倉敷市議会との協議の場を持たねばならないという共通認識がある。当局も倉敷市と協議し早急な実現へ向けて進めていただきたい。

答 町長 地域間交通ということでは倉敷市の中でも既に協議されていると聞く。今後も倉敷市と粘り強く交渉を続けていきたいと思う。

公民館の早急な改修策は

問 第4次総合計画の中で、社会体育施設は飽和状態にあり、施設の老朽化も進み施設の運用の見直しや整備について検討する必要がある。と言っているが、築後45年経ち老朽化の進む中央公民館をどのようにするつもりなのか。

答 教育長 ご指摘のように老朽化した当施設では、多様化する町民の学習要求に応えられるものではない。総合計画の期間内に中央公民館の整備計画を策定したいと思う。

問 整備計画を立てるのも良いが先ず、使用にも困っている場所については早急に対応していただきたい。とりわけクラブハウスの雨漏りはひどい。業者にも見てもらい、過去何回か暫時の補修も試みたようだが、どうもその効果もないとの報告を受けている。

中央公民館は倉敷市との間に、建物点検の協定にかかる委託対象施設になっているので、点検を試みてはどうか。

答 生涯学習課長 言われるように倉敷との公共施設の調査等も踏まえ利用者に不便をかけないよう対応していく。



甚だしく老朽化した早鳥町中央公民館

# 土曜はやしま塾「大谷荘」開校



早島町教育委員会が主催する“土曜はやしま塾”が地元の多くの皆様や、学生ボランティアのご協力により新しく大谷荘（若宮）でも始まりました。

9月5日に入塾式が行われ7つの自治会から小学生24人が参加し、楽しくスタートをきりました。

塾の内容は土曜はやしま塾（いぶき荘）と同じようなシステムで運営され、午前9時から約2時間の自由勉強を中



↑お世話をしてくださる先生と地元の方

真剣な眼差しで課題に取り組む子どもたち→

↓さあ、入校式。期待と不安で臨んでいます？

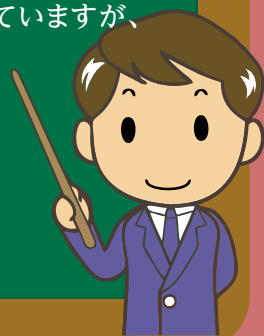


心に、地元の方や学生ボランティアが先生となり子どもたちを指導。12月までは月に2回の開校となります。

現在は若宮地区の有志を中心に運営されていますが、幅広く地域のみな様のご協力を期待しております。



はやしま学支援本部FB



お問合せ：早島町教育委員会TEL086-483-2211

## ◆編集後記◆

今年も残り1か月となりました。皆様にとってどんな年だったでしょうか。

早島町では新しい町長が誕生し、大きな期待が寄せられています。新町長になって初めての議会が開かれ、本町での子育て、教育、福祉、健康等の課題も山積している中、活発な議論が行われました。一般質問では議員全員に対しほとんど町長が答弁されています。

また自治会訪問では、皆様からの生の声をお聞きする事ができましたことは、早島町にとって大きな前進であったと感謝を申し上げます。皆様のニーズに合った施策が実行できるよう、行政と共に努力して参りますので、来年もどうぞご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

皆様にとって来年も幸多き一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。良いお年をお迎えください。

議会広報特別委員会